

特定外来生物のオオハンゴンソウ 駆除活動で自然繁殖を食い止める！

危険信号 点灯中



オオハンゴンソウ (キク科)

明治時代に北米から鑑賞用目的で持ち込まれ、野外に定着。現在、外来種の中でも「特定外来生物」に指定されている。在来種を駆逐するほどの大群落をつくり、九重の植生に大きな影響を与えるおそれがある。

九重では2008年から「九重の自然を守る会」によってオオハンゴンソウの駆除が始まりました。現在では、九重町や環境省、当校なども連携して駆除活動を実施しています。

○ 駆除活動ってどんなもの？

駆除活動には、撲滅を目的とし、根ごと引き抜く「抜根」と種子形成を抑制する目的の「刈取り」などがあります。繁殖規模や緊急性などを考慮し、場所ごとに設定した目的に沿って駆除活動を行っています。



▲7/6(日)のボランティアワークキャンプにて。ノリウツギの林の中に生えているオオハンゴンソウを一株ずつ手ガマで刈っていきます。雨の降る中、地道で根のいる作業でした

駆除活動を手伝っていただける方を募集中です。外来生物は、「**入れない・捨てない・拡げない**」九重の自然と一緒に守りましょう。

外来生物とは

明治時代以降、その生物本来の移動能力を超え、人間によってもともと分布していなかった地域に持ち込まれた生物のこと。

特定外来生物

生態系や人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼしたり及ぼすおそれのある外来生物の中から、規制・防除の対象とするもの。外来生物法で飼育・栽培・保管・運搬・販売などが禁止されている。

※自宅等で見かけたら…根から抜いてその場で焼却、もしくは2〜3日天日にさらして枯死させた後、各自自治体のゴミの分別方法に従って処分してください。



スタッフ朝倉のフィールド手帖

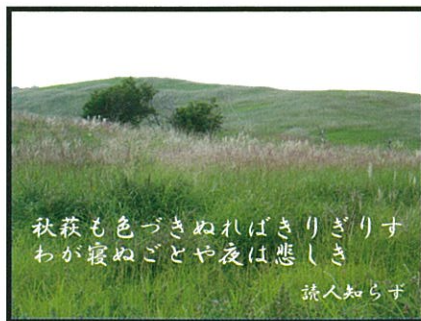
さとばるで 愛でる日本の 秋の音色



「さとばる」(九重自然教室)は、九重の自然を楽しむ!学べる!自然学校のフィールドです

毎週、土・日曜はさとばる一般開放

さとばるの草原から、虫の鳴き声が聞こえ始めました。想像してください。なんだか落ち着きませんか。虫たちが羽などをこすり奏でるその音色に郷愁を感じるの、日本人ならではの感情と言われている。むろん、コオロギやスズムシなどは、はるか千年以上前の和歌にも登場しています。虫は昔から私たちの身近な生きものの1つであり、その鳴き声は人々の心模様を表すものでもあったようです。今秋は、虫たちの声に耳を傾けながら、ちょっと1句詠んでみませんか?



秋萩も色づきぬればきりぎりすわが寝ぬごとや夜は悲しき 読人知らず

畑 昆虫

ミニ講座 随時開講

植物 野鳥

- 9/14(日) 秋に咲く花①
- 9/28(日) 秋の堆肥づくり
- 10/12(日) 秋に咲く花②
- 11/9(日) 冬越しする昆虫

時間: 10:30 から約1時間
参加費: 100円
場所: さとばる

MAPはこちら

申込: 不要 (大分県玖珠郡九重町 田野 1726-143)



ミニレポート さとばるの畑

飯田高原の伝統野菜ひとつ「マタゴロ」。里芋の一種で、親芋まで食べられます。当校では伝統野菜の保護や継承活動にも取り組んでいます。

例えば... 畑講座ではこんなことをやります

- 畝づくり、苗の手入れの仕方
- 防寒対策法(高原の場合)
- 堆肥づくり(生ごみ堆肥・草木堆肥)

【編集・発行】

さとばる時間 2014. 秋号
2014年8月26日発行
写真提供: 長者原ビジターセンター

九重ふるさと自然学校

(運営: 一般財団法人セブンイレブン記念財団)
〒879-4911 大分県玖珠郡九重町大字田野1624-34
TEL:(0973) 73-0001 FAX:(0973) 79-3434
Eメール: kujyu-sizengakkou@7midori.org

当校MAPはこちら

ホームページ <http://www.7midori.org/kokonoe/>

Facebook <http://www.facebook.com/kujyusizengakkou>

九重の高原から

さとばる時間

TAKE FREE

九重ふるさと自然学校通信 Vol.28

2014. 秋号

九重のさとばる【里の草原】で育まれてきた自然や文化、そしてそこに流れるようなのんびりとした時の流れを感じてほしいという願いを込めて、「さとばる時間」と名付けました。



白銀色

10月初旬～中旬
タデ原湿原

九重の秋の色さがし



10月中旬～下旬
三俣山の紅葉

紅葉色

特集 生きもの育む 田んぼづくり

くじゅうびと - 農家文化が九重の自然を守る -
2014夏のプログラム報告
駆除活動進行中! オオハンゴンソウ
さとばる - 秋のフィールドガイド -

黄金色

9月中旬～下旬
飯田高原の稲刈り

秋は実りいっぱい黄金色

生きものはぐくむ 田んぼへようこそ!

九重ふるさと自然学校の 自然共生型田んぼづくり

私たちは、生きものたちの命があふれる田んぼや周辺環境づくりをめざし、無農薬や中干し延期など、多様な生きものがすみやすい田んぼづくりをすすめています。人と自然、生きものが共存する田んぼへぜひお越しください。

九重の様々な分野で活動する人にお話を聞く連載記

くじゅうびと

Vol.2



農家文化が
九重の自然を守る
藤原おわた
主人 時松 和弘さん

「何のために農業をしているのか。そう思う時がある」。時松さんはそう口にした。飯田高原で生まれ育ち、40年前にキジ飼いはじめた。はじめは自宅用に無農薬で野菜等を育てていたが、そのうち耕作面積が増え、仲間と有機無農薬栽培に取り組みはじめた。その一つが、水稻のアイガモ農法である。アイガモは田に雑草が生えにくい環境をつくるが、一方でエサとなる水生昆虫などの生物を一緒に食べ尽くしてしまうそうだ。時松さんは多様な生物がすみ田んぼであってほしいと、状況を見ながらカモを出し入れし、生きものと共存する田んぼづくりを生業として行っている。

このような考え方は、時松さんが自然環境保護団体の「九重の自然を守る会」に所属し、九重の自然とともに農家生活を営んできたことにある。「今では、街・田舎・若い人・年配の人でそれぞれ自然への見方が違う。道路は舗装され、様々な加工食品があふれるなど、世の中が便利になり、生活も豊かになった。そのような中で、本来の人間の暮らしが見えづらくなっている。自然もそうだ。夜はこんなに暗いんだ。山には危険が潜んでいるんだ。本物の自然がどんどん分からなくなっている。どういう風に暮らすことが人間本来の生き方なのか。そう考えると、昔の農家の文化や暮らしを守り、伝えることがその答えなのではないかと今は思っている。九重の自然は、何百年という長い年月の中で、農業を中心とした人の暮らしとともにつられてきた。農家文化を守ることが自然を守ることになる。」と、時松さん。時松さんは、消えゆく地域の行事食や伝統食の継承にも取り組み、「農家民宿 おわた」で一般の方向けに農家の暮らし体験を提供している。「何のために農業をしているのか」。それは、人間が自然と共存するためなのかもしれないと、若輩ながらそう感じた。



オタマジャクシやトンボのヤゴ(幼虫)などが成体・成虫になれるよう、水を抜く時期を遅らせる



NEWS!!!
2014年3月、当校の「自然共生型田んぼづくり」が、「国連生物多様性の10年日本委員会」(UNDB-J)の連携事業に認定されました。2010年に定められた生物多様性保全のための新たな世界目標「愛知目標」の達成を目指し、委員会や全国の団体と一丸となって、生きもの育む活動を今後も展開していきます。

収穫の秋ですよ~
参加者募集!

秋の稲刈り (手刈り&掛け干し体験)
9/20(土) 10:00 ~ 16:00
※9/13 申込締切 昼食付き

田んぼの生きものしらべ 秋
10/11(土) 13:30 ~ 17:00
※当日参加可

いずれも参加無料になりました。
この活動は下記の事業として実施されます。
「大分県 生物多様性フィールドワーク委託事業」

参加のお申込は...当校 TEL:0973-73-0001



ミヤマアカネ



ニホンアカガエル



コガタノゲンゴロウ



シマヘビ



ドジョウ

ほんの一部を紹介!します!

田んぼや畔で見つけた生きものたち

2014 夏 プログラム実施レポート!!

6/14 草原の草花あそびとちまきづくり

この時季ならではの行事食「ちまき」づくりを行いました!旧暦でみればこの頃が端午の節句にあたり、ちまきを巻くヨシの葉もちょうどよい大きさに成長していました。ちまきを巻き終わったら、皆で草原散策や季節の草花あそび!梅雨の真っ只中でしたが、身近な草花に触れ、季節の移り変わりを楽しみました。



7/5-6 ボランティアワークキャンプ

自然教室(さとばる)の池のいかいぼり(堆積物除去)と木道整備を行うとともに、長者原のオオハンゴンソウ(外来植物)の駆除活動に参加しました。どちらもずいぶん進みましたが、まだ先の長い活動でもあります。今後ご協力いただける方を絶賛募集中です。



7/19 川の生きものしらべ

筑後川の最上流部にあたる飯田高原の湯坪川で、生きものしらべと川遊びを行いました。小魚や水生昆虫を捕まえたり、ライフジャケットを着て川流れを楽しんだり、高原の夏を満喫できました。このように遊べるきれいな川をいつまでも大切にしたいものです。



7/20・21 夏休み自由研究講座

夏休みのスタートと同時に「自由研究講座(昆虫・植物コース)」を実施しました。当日は高原の涼しさとは程遠い暑さの中でしたが、昆虫・植物採集と標本づくりを行いました。最後まで集中して、キレイな標本を作り上げていた子どもたちの姿がとても印象的でした。



7/26-27 野生動物を探しに行こう

けもの道を探索しながらの動物の痕跡探しや、野ネズミの捕獲・観察、野鳥やコウモリ、夜の昆虫観察などなど、野生動物たちの気配を感じ、生態について学んだワクワクドキドキの2日間。シシ肉料理づくりにも挑戦し、人と野生動物のつながりについても知る機会となりました。

